

# 郡山市認知症高齢者

平成29年2月24日  
連絡会事務局 発行

## SOS 見守りネットワーク連絡会報 第13号

### 高齢者の消費者トラブル

高齢者の消費者被害に関する相談が全国の消費生活センターに多く寄せられています。

高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれています。悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあり、親切にして信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙っています。高齢者は自宅にすることが多いため、電話勧誘販売や訪問販売による被害に遭いやすいのも特徴です。

消費者庁によると、2015年度の高齢者の消費生活相談件数は24万件で、ここ5年間で約3割増加しています。また、認知症等の高齢者においては、約4割が「訪問販売」に関する相談であり、トラブルに遭いやすい状況といえます。

高齢者の消費者被害・トラブルを未然に防止し、拡大を防ぐためには、地域全体での見守りがますます重要となってきます。

### お問い合わせ 連絡会事務局

郡山市地域包括ケア推進課

基幹包括支援係

電話：924-3561

メールアドレス：[hokatu-care@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:hokatu-care@city.koriyama.fukushima.jp)

※加盟団体数 94 (2月24日時点)

### SOS見守りネットワーク連絡会議を開催しました

2月9日に連絡会加盟団体のみなさまにお集まりいただき、認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会議を開催しました。会議では、会員の皆様からSOS見守りネットワークの取組み状況を報告していただき、本ネットワークの繋がりを広げていけるよう情報共有をしました。

#### 郡山警察署 生活安全課 より

昨年、郡山警察署管内では132人を保護しました。自宅周辺で見つかったり、一般の方が通報してくれたり、ほとんどがすぐ発見に当たっています。家族は、夕方になってようやく届出をしますが必ずSOS見守りネットワークへの登録を勧めるようにしています。

#### 株式会社東邦銀行郡山営業部 ～古川さんより～



行方不明者情報は、窓口や渉外担当にFAX回覧し情報を共有します。また、職員の意識の醸成にも力を入れています。全行的な取組みとして、新入行員の認知症サポーター養成講座の受講を必須とし、約130名のサポーターが誕生しています。

#### 株式会社セブンイレブンジャパン ～川瀬さんより～

食事のお届け、移動販売を中心に地域のお客さま支援をしています。高齢者からもお店の認知度が高いということで、かなり頼りにしていただいております。また、ある店舗では認知症の人から一日に何度も連絡がかかってきますが、それが元気の印ということで対応しています。



#### 郡山市社会福祉事業団 ～新井さんより～



SOS見守りネットワークから依頼があった行方不明者が事業団で運営している入浴施設で発見されました。事業団では行方不明者情報のメールを、直ちに各施設へ転送しております。この方も、度々施設を利用しており、職員が利用者の名前を知っていたことが早期発見に繋がりました。

#### 郡山市水道局 ～清野係長より～

2ヶ月に一度検針員が自宅訪問する際、何か異変や変わったことがあれば連絡をいただくようお願いしています。行方不明者情報は、メールで局内の職員へ周知を図り、外出時に気を配りながら活動するよう心がけています。



### 平成28年度 認知症セミナーのお知らせ

下記のとおりセミナーを開催しますので、みなさまふるってご参加ください。

日時：平成29年3月9日(木)

場所：中央公民館 多目的ホール(郡山市麓山一丁目8-4)

内容：講演「SOS見守りネットワーク模擬訓練をしよう！

～認知症高齢者にやさしい地域づくりを目指して～

講師：新潟県湯沢町 健康福祉部健康増進課 主任保健師 國松 明美氏

認知症対応型共同生活介護グループホーム雪割草 所長 高橋 舞子氏

